

12月県議会①

11月24日、10時から、12月県議会が開会しました。



千葉県選手団「チームちば」が旋風を巻き起こし、その結果、(中略) 悲願の完全優勝を成し遂げました。今後も、この輝かしい成果を活かし、県民がますます元気で活力をもって過ごせるよう「スポーツ立県千葉」の定着を目指します。

「地元選手」に偽り (11月30日の日経新聞より抜粋)
 国体には参加規程があり、「優勝には、8位以上しか得点が加算されない」ので、各種目、好成績を残すために開催自治体は数年前から年間数億円以上を掛けて選手を強化する。手っ取り早いのが有望選手を他県から大量捕獲するやり方。実際、次年度開催の山口県の選手に参加資格の疑惑が発覚した。

国体参加規程 (成人選手)
 ① 居住地となる現住所がある
 ② 勤務地がある
 ③ ふるさと選手性を活用して登録した出身地
 *いずれかに該当する都道府県からしか出場できない

国体の目的からすると、最近の国体はどうでしょうか。地方スポーツの振興と地方文化の発展というより、上記の記事を見ても、目的からかけ離れ、さらに地方財政にかなりの負担になっているのではないのでしょうか。



【業者プール金及び職員からの返還金の状況について】報告 平成22年11月1日現在

年月日		業者プール金 (単位: 千円)			
		合計	確定額	交渉中の額	返還不能見込額
H21	業者数	43	34	7	2
12/18	金額	420,884	148,625	216,152	56,107
H22	業者数	43	36	5	2
11/1	金額	420,884	(ア) 182,574	(イ) 182,203	(ウ) 56,107

- (ア) 金額の確定ができた業者
 - 30社は返還済み (138,775千円)
 - 4社は分割納付誓約済み (9,766千円)
 - 2社は未返還及び返還方法未確認 (34,033千円)
- (イ) 未返還、確認書を交わしていない。
- (ウ) 倒産業者=返還されない

【職員からの返還状況】

返還すべき額 : 943,662千円
 返還済額 : 774,972千円 (約82%)

11月25日の読売新聞より不正経理が行われていた当時の特別職5人のうち1人が返還に応じていないなど、県退職者からの返還が進んでいない。



来年4月からは、ポストリレー方式による返還が始まります。管理職ポストごとに決定した返還月額 (2500円~12,500円) を該当ポストの就いたものが返還していきます。いわば業者のプール金を県管理職員が代わって返金することで、これで、業者側の問題は解決するのでしょうか。これほどまでにかばう県側には、まだまだとんでもないものが隠されているような気がします。